

	質問内容	回答
1	荒川下流では潮の満ち引きにより水位が約2mほど変化していますが、この水位変化によって洪水のリスクは変化するのでしょうか。	河口部の水位が高くなる場合は、上流側の水位も高くなるため洪水のリスクも高くなります。
2	そもそも、0m地帯において、堤防決壊後30分で5mも浸水する場所には住んではいけないという発想はないのか？最終的な解決を見るためには、一時立ち退きをしてもらって、盛土をするような、その方法論と費用の算出を検討しているのか？	荒川下流部のゼロメートル地帯では、早い段階からの避難の実効性を高めるとともに、避難が出来なかった場合でも、命の安全・最低限の避難生活水準を確保でき、避難場所ともなる高台まちづくりを推進しています。高台まちづくりは、「建築物等（建物群）等」、「高台公園を中心とした高台まちづくり」、「高規格堤防の上面を利用した高台まちづくり」の3つのイメージになります。 一時的な移転等により盛土をする方法の一つとして、国土交通省では高規格堤防整備を進めています。 高規格堤防は、基本的には用地を買収することなく、区画整理や再開発などのまちづくり事業と共同で実施することを原則としています。

	質問内容	回答
3	氾濫流想定区域内の木造三階建ての住宅での垂直避難のリスクについてお聞かせください。具体的にどの程度の距離の地点の堤防が決壊すると倒壊の恐れがあるのでしょうか。	家屋倒壊については、荒川水系荒川 洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））をご参照ください。 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000674290.pdf この図は、荒川水系荒川の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）は、一定の仮定を与えて算定しており、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合がありますことに加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。 また、屋内安全確保（垂直避難を含む）をする場合は少なくとも以下の条件を満たす必要があります。 ①自宅・施設等が家屋倒壊等氾濫想定区域に存していないこと ②自宅・施設等が浸水しない居室があること ③自宅・施設等が一定期間浸水することにより生じる支障を許容できること なお、家屋倒壊等氾濫想定区域にある住宅の場合は、立退き避難が原則となります。
4	荒川土手を利用する団体には大雨前に高水敷に許可をもらって設置したものを撤去するように指示が発令される。しかし、高水敷に入るためのゲートのカギをすべての団体が持っていない。持っていない団体に対しての指示に対する責任（サポート）はどのように考えているのか教えてほしい？	河川敷に入るためのゲートのカギは、許可受者である占用者（自治体）と協議して、占用者に必要な本数をお貸ししています。 カギの貸出しについては、占用者にご相談して頂きますようお願いいたします。

	質問内容	回答
5	三次元の浸水想定区域図では浸水位を表現していますね。これまでの浸水深では自分の家がどのくらい浸水するのか、幅でしかわからなかったのですが、水位が示されれば具体的に家のどこまで水がくると想定されているのかがわかります。計算されたメッシュごとの水位を数値でも公表してください。	計算されたメッシュ毎の水位公表は今後検討して参ります。 参考 浸水ナビ (https://suiboumap.gsi.go.jp/) は浸水する箇所の具体的な浸水深を確認することが可能ですのでご確認下さい。
6	堤防に接して残土利用により整備される高台避難場所は、河川管理施設となるのでしょうか？それとも市町村の施設として引き渡されるものなのでしょうか？管理主体、管理方法を教えてください。	例えば、河川管理者が高規格堤防として高台を整備した場合は、河川管理施設となります。河川管理施設となった盛土については、河川管理者が管理することとなります。
7	荒川下流域は、密集市街地であるので、高台まちづくりというのは、移転できる場所もなく難しいと考えられます。荒川流域、特に下流域での高台まちづくりのイメージをお教えてください。	建築物の上層階での避難スペースの確保、公園の高台化、土地区画整理事業や市街地再開発事業と連携するなど高規格堤防の整備等により高台を確保し、高台の拠点を設定される浸水深よりも高い位置にある道路や通路等で線的・面的につなぐことにより、命の安全・最低限の避難生活水準を確保し、さらには浸水区域外への避難を可能とすることなどと考えております。